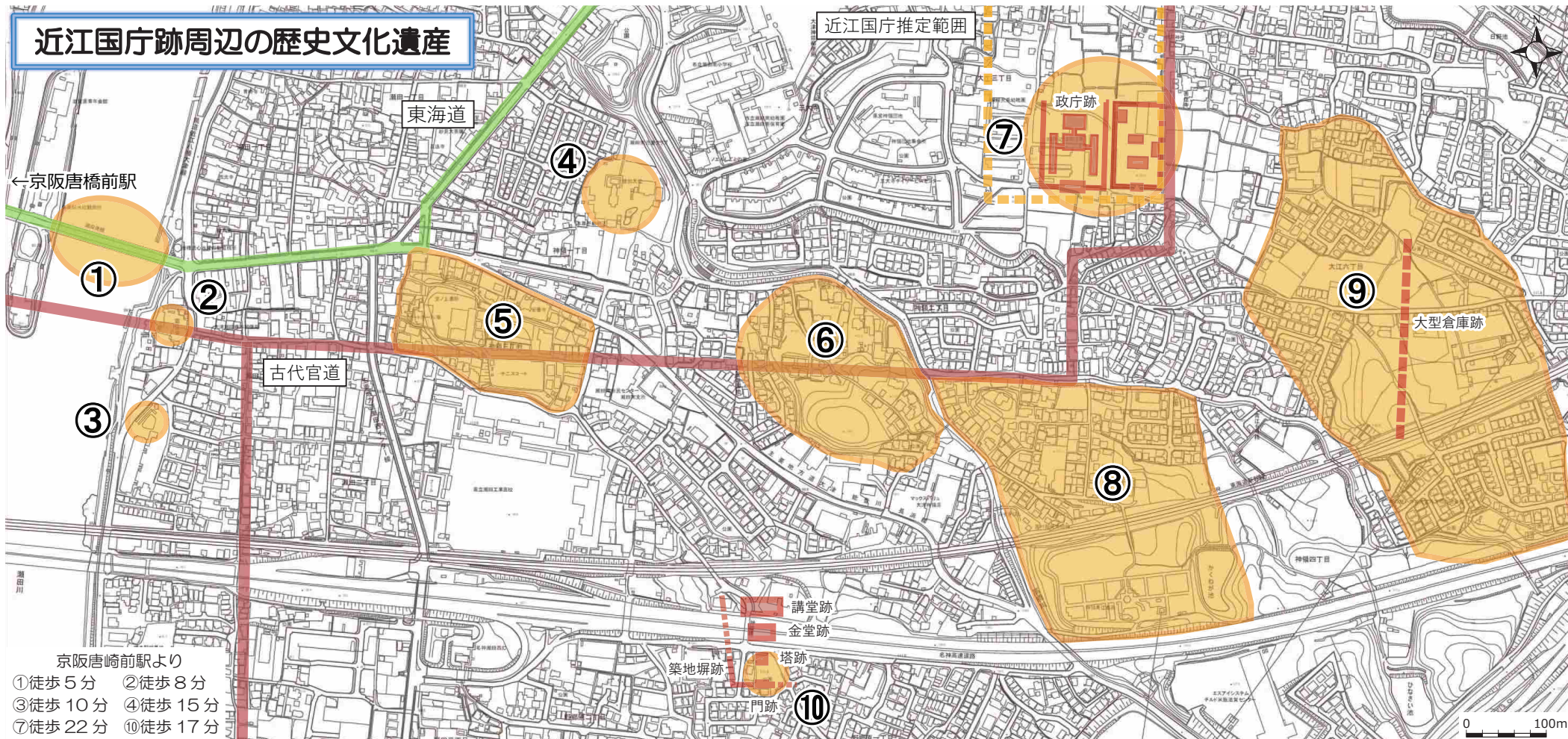


近江国庁跡周辺の歴史文化遺産



京阪唐崎前駅より
 ①徒歩 5分 ②徒歩 8分
 ③徒歩 10分 ④徒歩 15分
 ⑦徒歩 22分 ⑩徒歩 17分

- ① 瀬田唐橋**
 古代から畿内と東国を結ぶ軍事・交通の要衝。近江八景のひとつ「瀬田夕照」の舞台でもある。現在の唐橋の南 80m で古代の橋脚が見つかっている。
- ② 俵藤太の百足退治伝説**
 瀬田橋の下に住む龍神に頼まれ、三上山の大百足退治をした俵藤太を祀る龍王宮秀郷社、俵藤太の遺品を伝える雲住寺がある。
- ③ 瀬田城跡**
 戦国時代に山岡氏が、陸上交通と瀬田川水運の押さえとして築城。江戸時代には膳所藩主の別邸・臨湖庵があった。
- ④ 建部大社**
 近江国一之宮。日本武尊を祭神とし、古くから武家の崇敬が厚く、源頼朝も参籠した。8月17日の船幸祭は大津三大祭のひとつ。
- ⑤ 堂ノ上遺跡 (国史跡)**
 古代の勢多橋から東にまっすぐ伸びる古代官道に立地。特殊な間仕切りの建物があることなどから、勢多駅と考えられる。
- ⑥ 中路遺跡 (国史跡)**
 近江国庁にともなう官衙遺跡で大型の礎石建物や道路側溝が確認されている。古代官道沿いにはいろいろな役所が配置されていた。
- ⑦ 近江国庁跡 (国史跡)**
 地方行政を担った近江国庁跡。近江国府の中核であった。瓦積基壇をもつ瓦葺の建物などが発見されている。屋根は飛雲紋軒瓦で飾られていた。
- ⑧ 青江遺跡 (国史跡)**
 国庁の真南に位置する。国司館と推定され、大型の礎石建物が確認された。また、遺跡内には大規模な鍛冶工房跡も発見されている。
- ⑨ 惣山遺跡 (国史跡)**
 全長 300m にわたって南北に 12 棟の瓦葺総柱礎石建物が建ち並んでおり、国庁に伴う大倉庫群であったと考えられるが、何が納められていたかは不明。
- ⑩ 瀬田廃寺**
 塔と金堂が同一線上に並ぶ四天王寺式伽藍配置をもった国分寺跡といわれている。塔跡には礎石が残り、碑が建っている。